

## 水スプレー式加湿器注意書

WT51210X03

●安全のために必ず守っていただく項目を ⚠ 警告 ⚠ 注意の形で記載しました。

### 安全のために必ず守ること

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して表示しています。



**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。



**注意**

誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

- 試運転を行い異常がないことを確認すると共に、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れなどについて説明してください。
- 注意書は取扱説明書・保証書と共に、お客様で保管いただくよう依頼してください。お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

### ⚠ 警告

電気工事は電気工事士の資格のある方が、『電気設備に関する技術基準』『内線規程』および据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

- 電気回路容量不足や施工不良があると、火災・感電等の原因になります。

配線は、パネルや端子カバーが浮き上がらないように整形し、パネルや端子カバーを確実に取付ける。

- パネルやカバーの取付けに不備があると、端子接続部の発熱・火災・感電等の原因になります。

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

- 異常のまま運転を続けると、故障や火災・感電等の原因になります。お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部に配線の外力が伝わらないように確実に固定する。

- 接続や固定に不備があると、火災・感電等の原因になります。

改造はしない。

- 改造し不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。

お客様自身で分解・修理・移設はしない。

- 修理・移設等に不備があると、爆発・火災・感電・水漏れ等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。

### ⚠ 注意

各配線は、張力がかからないように配線工事をする。

- 張力がかかると、発熱・火災・断線等の原因になります。

製品内部の金属エッジに素手で触れない。

- ケガの原因になります。

パネルやファンガード等を取外した状態で運転しない。

- 回転部・高温部・高電圧部に触れると、火傷やケガの原因になります。

運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。

- 通電時間が短い場合故障の原因になります。シーズン中は電源を切らないでください。

製品を水洗いしない。

- 感電の原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らない。

- 必ず5分以上経過後に電源を切ってください。すぐに電源を切ると、故障や水漏れの原因になります。

## 現地作業手順

下記手順に従って、不要部品の取外し、および付属部品の取付け等を実施してください。

PFAV-P140・224・280・450・560(W)CM-E、P167・265・335・530・670CM-E-Fの場合

### 不要部品の取外し

- 1) つまみネジ(2カ所)を緩め、フロントパネルを取外してください。
- 2) ウォーター本体に取付けられているダンボール、および取付板金(ネジ各2本)を取外してください。(写真1)  
※取付板金はP450・560(W)CM-E形、およびP530・670CM-E-F形のみ取外しが必要です。取外した部品は廃却してください。

### 付属部品の取付け

- 1) 付属の給水ストレーナーをサイドパネルから引出している軟銅管の先端部に真鍮リング、およびリングナットにて接続してください。(図1)  
※軟銅管の接続については、図3をご参照ください。  
※給水ストレーナーのPTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。  
※サイドパネルの軟銅管貫通部(ゴムブッシュ取付部)は、隙間がないようにコーキングしてください。

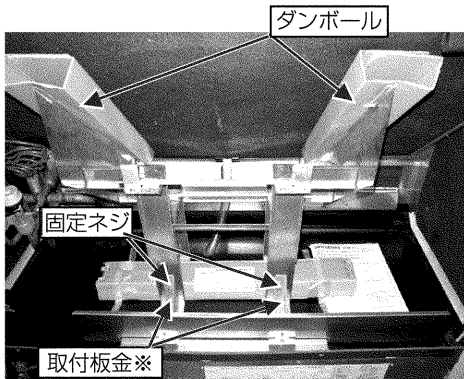


写真1

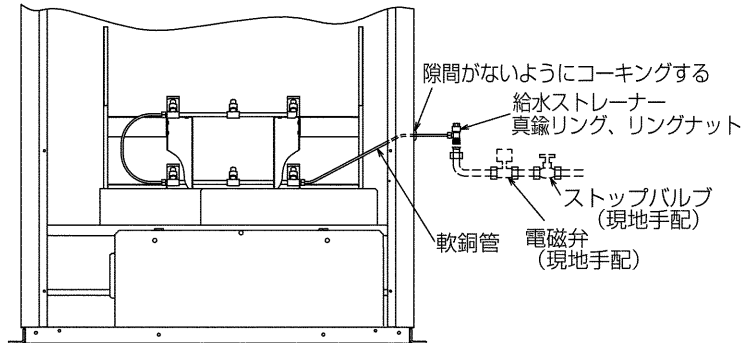


図1

PFAV-P670・800(W)CM-E、P1000CM-E-Fの場合

### 付属部品の取付け

- 1) 付属の給水ストレーナーをサイドパネルから引出している軟銅管の先端部に真鍮リング、およびリングナットにて接続してください。(図2)  
※軟銅管の接続については、図3をご参照ください。  
※給水ストレーナーのPTネジ部にはシールテープ等のシール材を使用してください。  
※サイドパネルの軟銅管貫通部(ゴムブッシュ取付部)は、隙間がないようにコーキングしてください。

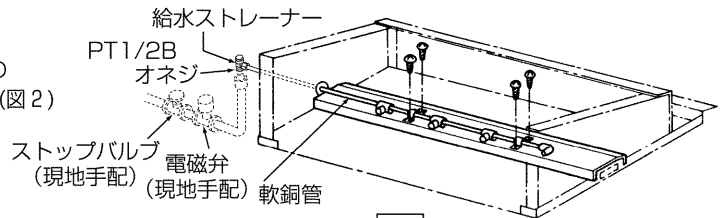


図2

### 〈軟銅管の接続〉

- A. 軟銅管に、真鍮リング、リングナットを入れます。
- I. ヘッダーノズルの凹部に軟銅管を奥まで挿入し、リングナットをスパナで締めつけ、真鍮リングを軟銅管に食い込ませます。  
※リングナット締めつけトルク：10N・m程度  
※軟銅管は継手の奥までしっかり差し込むこと。

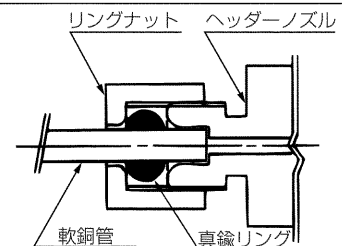


図3



◆軟銅管の曲げ加工はリングナットより20mm以上直管部を設けて行ってください。リングナット付近からの急な曲げ加工は漏水の原因となります。

## ご注意

以下の項目に注意し、ご使用ください。

- 1) ストップバルブ、電磁弁(または塞止弁)は必ず設置してください。また、必要以上に加湿しないように湿度調節器(23HS)を使用し、適切な湿度に設定してください。
- 2) 給水圧力は、右表のとおりとしてください。
- 3) 給水は市水または上水を使用してください。ただし、公共の水道管に直接接続することは出来ません。このような場合はシスターンタンクをご使用ください。
- 4) 試運転を行い、各配管接続部からの水漏れ、また冷媒配管とウォーター本体の板金と干渉(隙間20mm以上)していないか確認願います。また運転期間中は定期的にノズルからの噴霧状態、各配管接続部からの水漏れ有無などを点検してください。
- 5) 長期にわたり使用しない場合は、休止前にきれいな水を通じてノズルを洗い、残っている水を抜いて給水ストレーナーを掃除しておいてください。
- 6) 年1回(シーズンインの時)および噴霧状態不良のときは、ノズル先端のセラミックチップを取外し、チップの先端部・側面の過流孔を細い針で掃除してください。
- 7) 本加湿器は暖房モードでのみ運転可能です。冷房モードで運転されますと水漏れの原因となります。
- 8) 製品本体が停止時に吸水バルブ・弁が故障等により、給水(加湿)状態となりますと水漏れの原因となります。
- 9) 夜間等ユニット停止時に凍結するおそれのある場合は、適切な凍結防止処置を施してください。
- 10) 製品本体の通風・サービススペースは所定の寸法を確保してください。
- 11) ご使用のユニットがPFAV-P560(W)CM-E形で、別売部品の吸込ダクトフランジ(PAC-CG80DF)を組んでいる場合、風量は必ず200m<sup>3</sup>/min以下でご使用ください。風量が多いと露飛ぶる危険があります。

機種形名	給水圧力
PFAV-P140・224・280・450・560(W)CM-E PFAV-P167・265・335・530・670CM-E-F	0.1~0.4MPa
PFAV-P670・800(W)CM-E PFAV-P1000CM-E-F	0.1~0.5MPa